

【第4号議案】

ESD-J 2025年度 事業計画（案）

< 2025年4月1日～2026年3月31日 >

I 2025年度の活動方針

現在実施している京都市花脊地域での自然共生サイトの認定、地域活性化に向けたビジョンの地元でのコンセンサスづくり活動を継続するとともに、ESDに関連する様々な情報発信を行う。また、生物多様性に関する勉強会を開催するとともに、学習指導要領の改定に関する中央教育審議会での議論をフォローし、会員に向けて発信する等、ネットワーク機能を継続する。

2025年度総会で解散することが合意された場合には、2026年度総会での解散決議に向けた準備活動を行う。

II 人材育成事業

1 京都市花脊地区自然共生サイト推進事業

令和7年初旬より京都市花脊地区自然共生サイト推進事業をパタゴニア環境助成金プログラムの助成を受けて実施している。地域の自然・文化の保全と利用の充実・強化を通じた地域の活性化と自然共生サイトへの認定に積極的であることから、個別団体だけでは難しい地域での生物多様性の保全活動を露引き続き ESD-J が伴走支援する。

2 一般社団法人「責任ある旅行会社アライアンス：Japan Alliance of Responsible Travel Agencies (JARTA)」と連携事業

持続可能な観光の推進とその結果としての地域社会の活性化に向けた連携・協働の可能性を模索する。具体的には、JARTA が実施する環境・持続可能性に関する研修の企画・教材作りを支援するとともに、状況に応じ研修の実施を共同で行うことを検討する。

3 オンラインセミナー、研修会の実施

(1) 新たな生物多様性の動向・学習指導要領の改定に関する勉強会の開催

生物多様性国家戦略2023-2030の内容について学ぶとともに、教育界においてどのような対応が求められるか、何が実施できるかを検討する勉強会を開催する。特に、小中学校を中心とする学校教員の理解を深めるための周知普及活動を中心に行う。

また、会員による関心が高い学習指導要領の改定に係る議論をフォローし、会員に対して発信するとともに、必要に応じて勉強会を開催する。

4 効果的な情報発信の実施

(1) ESD-Jの広報ツールを通じた情報発信

当面、ウェブサイト、Facebook、メールマガジンなどを活用し、以下のようなESD活動に関する国内外の情報等の収集及び発信を継続する。総会以降の活動については、総会での議論を踏まえて再検討する。

- ① 海外の情報：国連、ユネスコ及び国連大学等国連関係機関、並びに海外のNGO、企業等が発信する情報収集・発信する。
- ② 国内の情報：国の行政機関、協力団体等全国規模の団体、及び地方の団体等が発信する情報

【第4号議案】

で、広く全国に伝えることが有益と考えられるものを6月末まで収集・発信する。

5 その他

(1) HESDフォーラム推進事業

HESDフォーラムは高等教育機関におけるESDを推進するために2007年に開始された高等教育機関のネットワークであり、これまで17回のフォーラムを開催している。現在ESD-Jが全体事務局を務めており、第18回HESDフォーラムを2025年度内に開催する予定である。

III 政策提言事業

1 提言作成のための意見交換と情報収集

(1) 国連ESDの10年（DESD）終了後の10年間の成果と課題の総括

2014年にDESDが終了してからの10年間における成果と課題について、会員にアンケート、並びにヒアリングを会員4名、賛助団体1団体を対象に実施した。その結果を2025年度初旬に報告書としてまとめ、会員の皆様に共有するとともに、当団体のウェブサイト公開する。

2 環境省・文部科学省など関係省庁への提言活動

(1) ESD/SDGsに関する政策に係るパブリックコメント等への対応

ESD及びSDGsに関する政策についてパブリックコメントが出された際に、会員への周知を行う。

IV 国際連携事業

1 地域の実践に活かすための海外情報の国内発信

2025年度も引き続き国際MLを通じて国際会議の開催情報、結果情報、その他主要な国際的動向等の情報を発信する。

2 岡山の第14回RCEグローバル会議

2025年10月21～23日に岡山で開催される第14回RCEグローバル会議に参加し、貢献する。

3 在外邦人による海外におけるSDGs・ESD情報の発信

2023年度から、海外在住の日本人を通じて海外におけるSDGs・ESDへの取組状況に関する情報を発信しており、2025年度も継続する。

4 台湾環境教育学会（CSEE）との交流活動

必要に応じ、台湾の学校と日本の学校とのESD・環境教育に関する交流を支援する。

【第4号議案】

V 運営体制、及び組織基盤強化

1 ESD-J運営体制（2025年度）

役員（理事14名、監事2名、相談役2名、顧問3名）

役 職	氏 名
代表理事	鈴木 克徳
副代表理事	浅井 孝司、池田 満之
理事	浅井 孝司、浅野 亮、池田 満之、金澤 裕司、小玉 敏也、新海 洋子、鈴木 克徳、新名 阿津子、福井 光彦、増田 直広、松田 剛史、松田 直子、三宅 博之、安田 昌則
監事	浅見 哲、吉岡 睦子
相談役	阿部 治、重 政子
顧問	池田 香代子、岡島 成行、高木 幹夫

役員役割

役 割	氏 名
組織運営委員*	代表理事・副代表理事、事務局長
総務・労務・経理担当理事	浅井 孝司、池田 満之
広報担当理事	新名 阿津子、福井 光彦、松田 直子
人材育成事業	浅野 亮、池田 満之、小玉 敏也、金澤 裕司、増田 直広、松田 剛史、安田 昌則
政策提言事業	浅井 孝司、新海 洋子
国際連携事業	鈴木 克徳、三宅 博之 会員：岩本 渉さん、宇賀神 幸恵さん
地域担当理事	【北海道】金澤 裕司、松田 剛史【東北】浅野 亮 【関東】増田 直広、小玉 敏也 【東海・北陸】新海 洋子【近畿】松田 直子 【中国】池田 満之【四国】新名 阿津子 【九州・沖縄】三宅 博之、安田 昌則
相談役	阿部 治、重 政子
監事	浅見 哲、吉岡 睦子
顧問	池田 香代子、岡島 成行、高木 幹夫

事務局

役 割	氏 名
事務局長	横田 美保（フルタイム雇用2025年6月末まで）

2 組織の今後に関する検討、実施スケジュール

総会での議論を踏まえて検討する。

【第 4 号議案】

VI 会議等予定

会議名	開催日	開催方法
< 総会 >	2025年6月21日（土）	電磁的方法で開催する
< 理事会 > 第1回理事会 第2回理事会 第3回理事会	2025年5月27日（火） 2025年11月 未定 2026年2月 未定	原則、電磁的方法で開催する
< 理事懇談会 > 第1回理事懇談会 第2回理事懇談会 第3回理事懇談会	2025年4月16日（水） 2025年8月 未定 2025年12月 未定	

以上